

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境					0.40				4.1
1 音環境				2.0	0.15	3.3	1.00		3.1
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		-		1.0	0.50	3.7	0.50		
1 開口部遮音性能		-		1.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		界壁遮音性能 Dr-50			-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		軽量衝撃源 Lr-40			-	5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-			-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-			-		-		
2 温熱環境				2.0	0.35	5.0	1.00		4.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	5.0	1.00		
1 室温		-		3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		レベル4を超える水準の断熱性能を満たす。		3.0	0.38	5.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		-			-		-		
2.2 湿度制御		-		1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		-		1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.5	0.25	4.0	1.00		3.8
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.0	0.50		
1 屋光率		共用部2.5%≤屋光率、住宅部2.0%≤屋光率		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口		-			-	3.0	0.30		
3 屋光利用設備		-		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50		
1 屋光制御		カーテンと庇の組み合わせで制御している		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		-		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		-		1.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	4.2	1.00		4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆等級をほぼ全面的に採用。ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない建材を採用している。		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-			-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO ₂ の監視		-			-		-		
2 喫煙の制御		-			-		-		
Q2 サービス性能					0.30				3.4
1 機能性				3.0	0.40	4.2	1.00		4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		-			-		-		
2 高度情報通信設備対応		各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能			-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観		-			-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-			-		-		
3 内装計画		-		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		-		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		LD:床2重貼り用シートフローリングt12(二重床下地h130)、壁ビニルクロス貼り(PBt12.5)、天井ビニルクロス貼り(PBt9.5)		4.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水PEP(B)、汚水VP(B)、雑排水VP8(B)、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		-		3.0	0.20		-		
3 電気設備		-		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20		-		

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
3	対応性・更新性					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり							3.2	0.50	
	1 階高のゆとり	2.9m以上3.0m未満						4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-						2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性					3.0	1.00			
	1 空調配管の更新性	-				3.0	0.20			
	2 給排水管の更新性	-				3.0	0.20			
	3 電気配線の更新性	-				3.0	0.10			
	4 通信配線の更新性	-				3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性	-				3.0	0.20			
	6 バックアップスペースの確保	-				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出					2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-				3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-				2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.5
LR1 エネルギー										4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	レベル4を超える水準の断熱性能を満たす。				5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-				3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.66、LED照明設備を採用。				5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価									
	4.1 モニタリング	-								
	4.2 運用管理体制	-								
	集合住宅の評価					3.0	1.00			
	4.1 モニタリング	-				3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制	-				3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル										2.7
1	水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	-				3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-				3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-				3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-				-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減					2.5	0.60	-	-	2.5
	2.1 材料使用量の削減	-				3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-				3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-				3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-				1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-				2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-				3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-				3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避	-				3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-				-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-				3.0	1.00	-	-	
	3 冷媒	-				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境										3.1
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=87%				3.5	0.33	-	-	3.5
2	地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-				3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-				3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-				3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-				3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場(バイク置場含む)と駐車を確保し、管理用車両として身障者用駐車場も設置している				4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-				3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮					2.8	0.33	-	-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-				3.0	0.33	-	-	
	2 振動	-				3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-				3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-				3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-				1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-				3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制					2.3	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-				2.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-				3.0	0.30	-	-	

スコアシート		実施設計段階														
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄														全体	
	評価点	重み係数	評価点	重み係数												
CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版		(仮称)海老名市東柏ヶ谷2丁目計画														
評価する取組み		合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能																
1.2.3 内装計画	2.0	2.0		-	○	○	○	-	○	-						
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0			-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0			-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-			○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0			○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)																
1 生物資源の保全と創出	5.0			-	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0			2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0			-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0			-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー																
2 自然エネルギー利用	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル																
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0			1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境																
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0			1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0			1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0			1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0			1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.6 窓の日射熱取得率(η) 0.5 U値(W/m2K) 窓システム 6.0 屋根 0.2 外壁 0.7 床 1.7 住戸部分 窓システムU値 2.9 外皮UA値 0.4 η AC 1.2 η AH 1.0
3.1.1 昼光率	昼光率 住戸30床用42
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 -
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 - VA/m ²
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.45 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース - レストスペース -
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 65 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 15 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 15 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 2.95(±0.1)m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 55.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m ²
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 17% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 48% 水平投影面積率 1% 地表面対策面積率 9% 舗装面積率 33%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4を超える 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 - MJ/年m ² 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 - 通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 - 太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 -
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 -
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 186% 隣棟間隔指標Rw 0.37 地表面対策面積率 12.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積Sb 804m ² 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 51.86 m 基準高さHb 8.32 m 緑地 124m ² 水面 m ² 保水性対策面 m ² 高反射対策面 m ² 再帰性反射対策面 m ²